

東海市浄化センターの仕組みと水の流れ

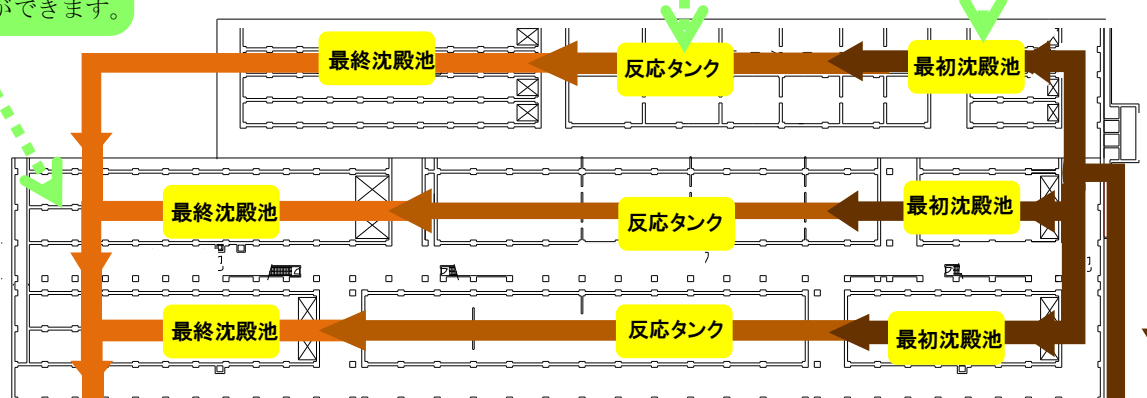
地面の下に埋められた下水管を流れて汚水が浄化センターへ集められます。



反応タンク：
汚水に溶け込んでいる汚れが微生物の栄養源となって取り除かれます。

最初沈殿池：
汚水がゆっくり流れて重たい汚れは沈み取り除かれます。

最終沈殿池：
汚れを食べて大きくなった微生物等は下へ沈み、上澄みの水ができます。



凡例
 水の流れ
 汚泥の流れ

濃縮タンク：
沈められた汚れや微生物の塊を濃縮させて濃い汚泥にします。

濃縮タンク

脱水設備

沈砂池

沈砂池：
大きなゴミや土、砂が取り除かれます。

脱水ケーキはトラックで浄化センターの外へ運ばれてセメントや肥料の原料になります

脱水設備：
濃い汚泥を脱水して水をしぼります。しぼられた汚泥を脱水ケーキといいます。

場外へ

接触タンク：
上澄みの水はさらに塩素で消毒されます。

消毒施設

消毒されてきれいになった水は名古屋港へ放流されます。

